

最新主要文献とガイドラインでみる 循環器内科学レビュー 2025-'26 第1版 正誤表

本書の記載内容に誤りがございました。

訂正させていただきますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

株式会社 総合医学社

第1版第1刷

該当箇所	誤	正
246 頁	Kaplan-Meier 法による2年間のドライブライン感染の非発生率はビタミンD 欠乏群で74.2%と、ビタミンD 非欠乏群の49.7%と比較して有意に高値であった ($p=0.017$)。	Kaplan-Meier 法による2年間のドライブライン感染の非発生率は ビタミンD 欠乏群で49.7%と、ビタミンD 非欠乏群の74.2%と比較して有意に低値であった ($p=0.017$)。